



第5話

「超乳との学校生活②」

椿ちゃんトイレに着いたよ？

ふう…ふう…

もう大丈夫だよ、椿ちゃん一人でトイレに入れる？

ううん、びびったおっぱいが重くて…



トップバスト：508.7cm

両乳質量：324kg

花園 椿

2人のクラスメイトのおかげでトイレにたどり着くことはできたけど、私のおっぱいはさらにミルクで膨乳して、2人の支えなしでは歩くのも精一杯でした。そして、洗面台の前まで着いた私は、すぐにはち切れそうな制服からおっぱいをさらけ出しました。

ああーもう濡れちゃうー……

椿ちゃんーっ急におっぱいをだしてっ……
たのっ

ごめんー今はとにかく手垢ってほじくのー……
早くおっぱいを洗面台にのせないと……

わ、わかった……って椿ちゃんのおっぱい重ーっ

トップバスト：508.7cm
両乳質量：360kg

花園 椿

今の私のおっぱいはミルクが溜まると片方だけで100キロを軽く超えてしまいます。3人がかりでも片方のおっぱいを洗面台に載せるのがやっとでした。
そして、私はもうミルクを我慢するのが限界でした。

ところで糖ちゃん、なんだがさっきよりもおっぱいが
大きくなってないっ

はい、さか、ミルミルが田舎で、汗をかきかき溢れちゃっ
たみたいっ。

ううー……だめ……おっぱいが止まらないっ……

あははは……うん……おっぱいはな……おっぱい……

それに、糖ちゃんもなんだが胸がびびりだす……

ねえねえ、ちよっと椿ちゃんのミルク飲んでみたくなじゅ。

たしかに、なんかちよっともったいないよね…

だだめ…気持ち良すぎて意識が…



(ああ、そんなにいっぱい飲んだら2人のおっぱいも…)

ぷはっ、こんなに美味しいミルク飲んだことないよー！

なんだか胸が温かくなる感じ…
もっともっと、いっぱい飲みたい…



トップバスト：555.9cm
両乳質量：397kg

花園 椿

結局、おっぱいからミルクを出し切った頃には授業を1つ丸ごとすっぽかしてしまい、女子トイレをミルクまみれにしてみました。

そしてなにより、クラスメイトの2人が私のミルクの虜になってしまったことで、この先どうなるのか心配でした。